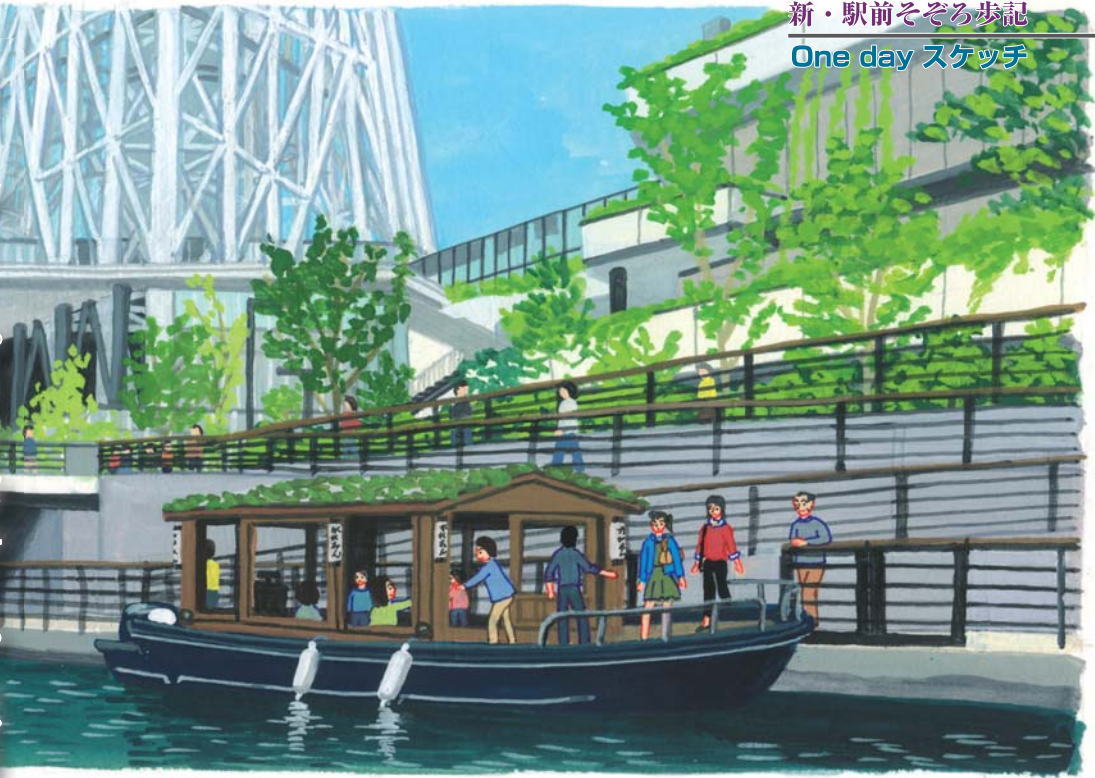


下町文化の奥は深い クルーズ気分 で街を いく



こんにちは、あすまで。今日は『とうきょうスカイツリー駅』『押上駅』の周辺を散策してきました。ますは、東京スカイツリー®の足元にある「おしなり公園船着場」から、「がれあん」という舟に乗って、「下町探検クルーズ」へ出航！

(MAPの①)

今回の登場人物



業平あすま
業平家の長女。母親が経営する小学生向けの英会話教室を手伝う。趣味は旅行。



ザリナ
貿易会社に勤めるマレーシア人。大学時代からのあすまの親友。



東武スカイツリーライン『とうきょうスカイツリー駅』。東京スカイツリータウン®開業に伴い、昨年3月17日に「業平橋駅」から改称。今は浅草発着のほとんどの特急が停車するようになりました。

とうきょうスカイツリー・押上

(とうきょうスカイツリー・おしあげ)

この秋は東京スカイツリー®を基点に、周辺に広がる押上の街並みを散策してみませんか。ここは、江戸のころに開かれた数々の運河に育まれてきた地。いまま、川面を行く船に乗り、遊覧クルージングだって体験することができます。もちろん歩けば下町情緒はたっぷり。歴史ある神社仏閣や観光ポイントが点在して奥が深い。多彩な見所から、あなただけの「お気に入りコース」を組み立ててみるのはいかがでしょうか。さあ、下町再発見の旅の始まりです。



水位差のある河川の間で船を往来させるために設けられている扇橋閘門をくぐると、折り返して戻ります。帰りは東京スカイツリー・ビューのクルーズ。ここは西十間橋あたりから眺めた「迷ッソリー」。キレイでしょ。(MAPの①)

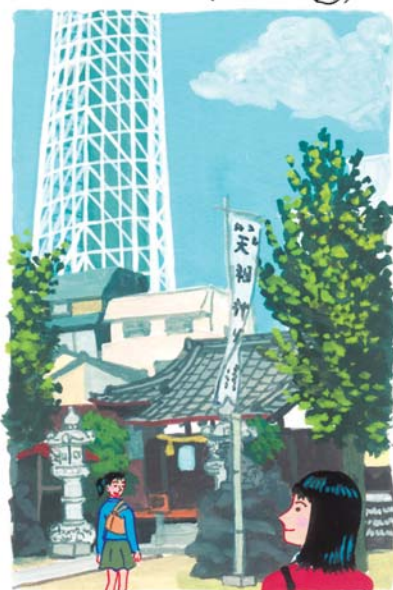


船は横十間川から小島木川へと進みます。乗務員の方が刻々と変わる川沿いの風景に合わせて、生息している鳥や魚、さらに建物の話までしてくれます。いよいよ、下町のパナマ運河「扇橋閘門」が見えてきました。(MAPの①)



遅めのランチに入ったのは、「フローズンスペース & カフェbranche」。花屋さんとかafeが一つになったお店。サラダとドリンクが付いたランチセットで、私はオムライスを、ザリナは生パスタをいただきました。(MAPの③)

船を下りて、今度は路上散歩。ここは「押上天祖神社」です。狛犬と東京スカイツリーの2ショットが面白いですね。延元年間(14世紀前半)から祀られており、明治5年には押上村の村社になったそうです。(MAPの②)



視点を変えて 運河から見る下町の面白さ

「押上駅」は「スカイツリー前」とも呼ばれるように、東京スカイツリー®のお隣元。人気スポットであると同時に、周囲には江戸文化を育んだ、知る人ぞ知る、街並みが広がります。

界限の特徴のひとつは、かつて幕府によって開かれた数々の運河(堀割)がある風景。その流れを「下町探検クルーズ」がれおん」で巡ることもできます。運河体験クルーズなら約80分。東京スカイツリーの足元から北十間川、横十間川、小名木川、扇橋閘門を通過して大横川で折り返します。中でも「閘門」という、2つの水門で水位を調節して舟運するシステムはすごい! 「下町のパナマ運河」と呼ばれる由縁です。船は、北斎や広重も描いた「法性寺」前を曲がったり、江東区の「クローバー橋」下を通ったり、有名な「逆さツリー」を満喫しながら進みます。視点を変えて眺める景色は、とても新鮮に映りますよ。

一方、どこに行こうか迷うほど、見所が多いのもこの街の魅力。そんなときは、東京ソラマチ®5階にある「産業観光プラザ すみだ まち処」がおすすめです。ここでは、産業・文化・歴史・観光など、たくさんのおすみの魅力を紹介しています。まち歩きガイドによる紹介も頼りになりますよ。現在墨田区では「すみだまち歩き博覧会」を開催中。多彩なコースを紹介した「まち歩きガイドマップ」を無料配布しています。各コースともスタンダラーのお楽しみ付きなので、すみだならではの賞品を、ぜひゲット(なお、このガイドマップは区内の観光案内所でも買えます)。



ここは「藤木稻荷神社」。応仁(1468)年、この地に逃れ転住した北条氏一門が稻荷大明神を祀ったのがはじめとか。名前の由来は、暴風雨でイチョウの枝が飛んできて刺さり、大きく育ったという言い伝えからだそうです。御神木のイチョウも、さすがに立派。(MAPの⑥)



浅草通りの南北には、個性的でアイデアいっぱいのお店が連なる「おしなり商店街」が。料理だけでなく、そば・寿司・いなり寿司・ふぐ・南風・ロシア風・お好み焼き・甘味喫茶・菓子・甘栗・パン・居酒屋と実に豊富です。(MAPの⑩)



最後に電車で浅草に出て、浅草寺へ。お目当ては、秋の浅草の風物詩「浅草菊花展」。10月15日から1か月間開催されます。10月18日には「金龍の舞」が、11月3日には「白鷺の舞」が奉演されますよ。(MAPの④)



墨田区主催の「すみだまち歩き博覧会」で、現役力士の手形スタンプがあるということで、大相撲ファンのザリナと東京リラマ4⑧の「すみだまち処」へ。ここでは墨田区の特産品や最新の観光・イベント情報もゲットできますよ。(MAPの⑤)

温かくて懐かしい 商店街の楽しさも再発見

押上界隈の歴史に触れるなら、神社仏閣巡りをしてみよう。「押上天祖神社」は、路地奥の静かな佇まい。約670年以上昔から祀られ、焼失や移転を重ねて現在があります。重厚な狛犬が、東京スカイツリーを見守るように建つ姿も見事です。浅草通りにある「春慶寺」は既に名所のひとつ。鶴屋南北の墓があり、池波正太郎・作「鬼平犯科帳」に登場することでも有名です。また「飛木稻荷神社」を訪れると、鬱蒼と茂るイチョウが私たちを迎えます。この御神木は戦災で焼失しながらも、奇跡的に芽吹き蘇りました。平和と再生を象徴する逞しい姿に心が動きます。さらに向島方面へと向かえば、「三三団神社」「牛嶋神社」「長命寺」など、文人墨客が愛した社寺へも徒歩圏内、充実のひとときが味わえます。

ところで、下町となれば商店街やグルメ探訪は欠かせません。道すがら、あちこちにイイお店が点在し、一見普通でも、やっぱり「粋」も「活」も残されていますから、乞うご期待。それには「おしなりくんの家」をマークしてください。ここは人気のゆるキャラでお馴染みのお休み処&観光情報発信地。今なら、お得な商店街スタンプラリーも開催されています。同様に吾妻橋エリアのためには「あづちゃん家」があります。

どうせなら、お隣り感覚で、浅草にも寄ってみましょうか？ 秋の浅草寺では、10月15日から1か月間「浅草菊花展」、18日が「金龍の舞」、11月3日が街をあげての「東京時代まつり」…とイベントが続き、華やいだ賑わいを見せています。



とうきょうスカイツリー・押上データファイル

〈下町探検クルーズ がれおん〉・・・交通=おしなり公園船着場まで、とうきょうスカイツリー駅・押上駅より徒歩5分 ●コース1「旧中川のんびり遊覧クルーズ」(おしなり公園船着場⇨北十間川⇨旧中川⇨ふれあい橋 *のどかな水辺風景を満喫後に折り返し) =11:10/14:20 (約50分間) ●コース2「下町のパナマ運河体験クルーズ」(おしなり公園船着場⇨横十間川⇨小名木川⇨扇橋閘門 *下町のパナマ運河を体験後に折り返し) =12:30 (約80分間) ●運休日=火曜、第1日曜 ●定員=12名 ●料金=コース1、2ともに大人2000円/小学生以下1300円 *乳幼児は1名まで無料 *持ち込み自由 *雨天運行 *空席があれば予約なしでも乗船可
 ☎株式会社ガレオン 03-5858-6877

〈産業観光プラザ すみだまち処 (東京ソラマチ5階)〉・・・●開館時間=10:00~21:00 *年中無休 ☎03-6796-6341

〈フラワースペース&カフェ branché (ブランチュ)〉・・・●交通=とうきょうスカイツリー駅徒歩1分、押上駅徒歩5分 ●営業時間=10:00~19:00 (カフェのL.O.17:30) ●定休日=不定休 *オムライス、生パスタ、豆乳入り生地のピザなどのランチセット(サラダ・ドリンク付) 850円 *ケーキも付けて1150円 ☎03-5819-4141